

甲南学園
ダイバーシティ&インクルージョン宣言
制定記念シンポジウム

彩りゆたかな キャンパスをめざして

甲南学園は2024年3月に、
甲南学園で学び研究し、働く
すべての人の多様性（ダイバーシ
ティ）の尊重と包摂（インクルージョ
ン）を推進し、一人ひとりの人権と価値観
をいっそう尊重することを目指して、**KONAN
ダイバーシティ&インクルージョン宣言**を公表い
たします。甲南学園の創立者である平生鈞三郎は、
「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重し、各人
の天賦の才能を引き出す」という言葉を残しました。これを建
学の理念として大切にする私たちにとって、ダイバーシティ&イ
ンクルージョンの理念は、私たちが追究する「**人物教育**」の前提であり、
建学の精神「**共働互助**」の実現にもつながるものです。個性を自由に育む
彩り豊かなキャンパスを目指して、これからの甲南大学のキャンパスを豊かに
するために、何が必要かを考えます。

2024年
3月1日(金)
午後2時～4時

〒658-8501
兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学岡本キャンパス
1-42 教室 (1号館4階)



主催  **甲南大学**

後援：神戸市

お申込みはこちらから⇒



◆ プログラム

1. 開会のあいさつ ————— 甲南大学副学長 北川 恵
2. 甲南学園ダイバーシティ&インクルージョン宣言の制定について —— 甲南学園理事長 長坂 悦敬
3. わたしたちの挑戦 —— 甲南大学生の取組み
4. 神戸市における女性活躍推進の取組み
————— 三和田 智子氏（地域協働局部長（男女共同参画センター所長））
産官学プラットフォーム設立を受けた今後の取組み
————— 中野 善文氏（一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム事務局長）
5. パネルディスカッション「これからのキャンパスのあり方を考える」

コーディネーター

富居 雅人氏（神戸新聞社 経営企画局 教育事業戦略室長、1987年甲南大学文学部卒業）

大阪府豊中市出身。1987年、甲南大学文学部英文学科を卒業し、神戸新聞社に入社後、事件記者を経て写真記者に転身。1998年、現代人の吊いの風景をルポして関西写真記者協会のグランプリを受賞。2003年、絶滅危惧の動植物を追った連載「いのちのまほろば」の単行本化で兵庫県の「井植記念文化賞」を受賞。編集局社会部次長、解説委員、映像センター長などを経て現職。ライフワークは「ハンセン病問題」。メディアリテラシー、ジェンダー、防災など多様なテーマでセミナーや講演活動を行っている。甲南大学非常勤講師。

パネリスト

ほんま なほ氏（大阪大学 CO デザインセンター教授）

大阪大学大学院文学研究科講師、准教授を経て、2020年よりCO デザインセンター教授。臨床哲学をはじめとして、哲学プラクティス、対話、こどもの哲学、フェミニズム哲学、マイノリティ・スタディーズ、さまざまなひとびとが参加することは・おと・からだによる表現活動をおこなう。著書『ドキュメント臨床哲学』、『哲学カフェのつくりかた』、『こどものてつがく』（共編著）ほか、『受容と回復のアート』など、アートミーツケア叢書を監修。

森 隼人氏（森興産株式会社 代表取締役、2004年甲南大学大学院 社会科学部研究科法学専攻 修士課程修了）

1976年生。法学修士 / 行政書士 (2006-) / 外国人雇用アナリスト。
外国人向け情報メディア「WA.SA.Bi.」では、留学・生活・就労・定住に関する情報を配信。
15,000名を超える外国人のキャリアデザインを指導すると共に、多様性に関する企業向けセミナーを多数開催するなど、採用から定着までのコンサルティング事業を展開。
産官学金連携での外国人支援に尽力。経済産業省選定 地域未来牽引企業 (2020年)。

奥野 明子氏（甲南大学経営学部教授、甲南大学BI研究所研究員）

大阪市立大学大学院、博士（経営学）。大阪経済法科大学講師、帝塚山大学准教授などを経て2012年より現職。目標管理を中心とした人事評価の研究に取り組み、近年では自らの経験をもとに産休・育休からの復職者の人事評価の研究を行う。小野薬品工業社外取締役、一般社団法人ふちでガチ理事。

6. これからのダイバーシティ&インクルージョン —— 甲南大学長 中井 伊都子

司会： 甲南大学学長補佐 笹倉 香奈